



今年の節分は2月3日です!

節分ってなあに?

季節の変わり目のことで、年4回（立春・立夏・立秋・立冬の前日）あります。

そのうち、旧暦の大晦日にあたる2月3日が「冬と春の節分」です。新年を迎える前に、1年の悪いこと（病気など）を「鬼」に例え、それを家や体の中から追い出して清めるために「鬼は外！福は内！」と豆をまいていた昔の習わしが今に伝わっているのです。



節分にまつわるもの

豆 豆まきをして邪気を払い清めます。豆には穀物の霊が宿っていると考えられているのだそうです。豆まきの豆は「福豆」と言って、元気に暮らせるように願いを込めて「年の数・または年の数+1粒」食べます。



イワシを飾る“やいかがし”

玄關などにヒラギの葉つき枝にイワシの頭を刺したものを飾ります。

イワシ イワシの臭いで鬼が近づかないように！

ヒラギ チクチクした葉で鬼の目を刺して家の中に入らないように！自分の家の中だけでなく、自分の心の中からも悪い鬼を追い出しましょう！

子どもの「イヤイヤ」どうしていますか？

子どもは日々成長し、1歳半を過ぎると少しずつ“ジブンデ！”“ジブンノ！”という思いがでてきて自我が芽生えてきますよね。それに伴いこの時期は「自分の欲求」を認識して、でも言葉では上手く表わすことができずに「イヤイヤ！」と相手にぶつけるようになります。今回は子どもの「イヤイヤ」へのかかわり方についてです！

「わかった」「いいよ」で受け止めよう

2歳児の要求には常に2つの側面があると思います。たとえば、食事の準備をしている最中の母親に、「遊んで」と要求したけれども、「あとでね」「今は遊べないよ」と断られたケースを考えてみましょう。このような状況で、2歳児はしばしばひっくり返って大泣きをし、はげしくダダコネをします。このとき2歳児の要求には、「遊んでほしい」という行為への要求と、「自分を認めてほしい、尊重してほしい」という自我の要求とが含まれているということです。2歳児の要求は、こうした二重構造を持っているので、「遊んで」という要求に対して「あとで」と否定されると、単に望んだ行為が実現されなかったというだけでなく、自分が尊重されなかったと感ぜられるため、はげしいダダコネが引き起こされると考えられるのです。

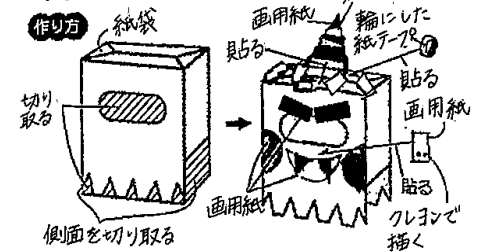
子どもの“イヤイヤ”があったときに「行為への要求には応えられないけれど、自我の要求には応える、そうしたかかわり方ができればよいのではないか」という考えもあります。2歳児には、とにかく「わかった」「いいよ」という関わりが気持ちの切り替えに繋がると思います。「わかった、いいよ」という言葉で、2歳児は「自分の思いが伝わった」と感じ、自分が尊重されたと思えるから、「では、今何をしたらいいのか」という方向に気持ちを切り替えることができるというわけなのです。

引用：富田昌平編著（2012）『子どもとつくる 2歳児保育』
加藤繁美、神田英雄監修、ひとなる書房

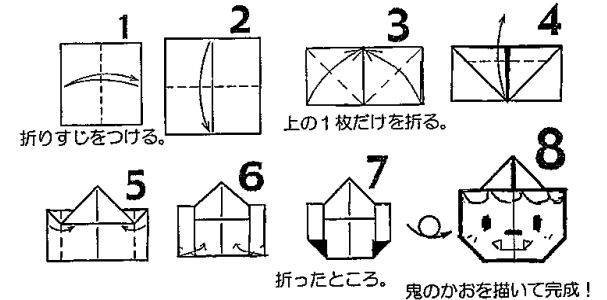
“イヤイヤ”は個人差もあり、その日の気分によっても反応が違って、かかわり方も悩みますよね。“イヤイヤ”も成長する中で大切な過程で、いつかは落ち着くとは思っていても、この時期は大変に感じることもあると思います。まずはママたち自身がゆったりとした気持ちで子どもと向き合えるように、周りに相談するのも大切ですね！

節分につくってあそぼう！

「紙袋を使って」
ぐるぐるヘアお面



「折り紙を使って」



節分メニュー

<おにっごは>

エネルギー：173 kcal(子ども)、346kcal(大人)

(材料) 子ども2人分・大人2人分

- | | | | | |
|---------|------|---|-----|------|
| ・米 | 2合 | A | ・醤油 | 大さじ1 |
| ・大豆(水煮) | 18g | | ・酒 | 小さじ1 |
| ・ひじき(乾) | 3g | | ・塩 | 少々 |
| ・しらす | 20g | | ・砂糖 | 小さじ1 |
| ・人参 | 1/3本 | | | |

<作り方>

- ①ひじきは水に戻す。人参は千切り。
- ②炊飯器に米、水、Aを入れ混ぜる。
- ③大豆、ひじき、しらすを入れ炊飯する。
- ④炊きあがり混ぜたら出来上がり♪